

地域再生型環境エネルギー実装のための広域公共人材育成・活用システムの形成に関する研究	
題目	東日本大震災から10年 自治体首長、議員向けのセミナーの開催
著者	岡田久典、小野田弘士

概要

今年度は東日本大震災10周年を迎えるため、東日本大震災10周年記念セミナーとして、「その時リーダーは？ 災害発生初期の戦い」を開催することとした。本プロジェクトの災害対策研究、普及啓発については、かねてより、全国市長会元会長 森民夫氏、元消防庁国民保護防災部長室田哲男氏（現 日本防災協会常務理事）等の指導により、進展してきた。今回は、本プロジェクトを連携して実施している一般社団法人地方行政リーダーシップ研究会との連携で実施したものである。

内容

■日時：令和3年3月26日（金） 13:00～17:00

■場所：全国町村会館 ホールB（千代田区永田町1-11-35）（感染対策を万全にして講師は町村会館から参加、15名程度の首長、議員も参加）150名の首長・議員はリモートで参加。

★ 挨拶等 早稲田大学環境総合研究センター上級研究員 岡田久典

◇ 基調講演 「災害復興対策-東日本大震災を例にして」

講師： 徳山 日出男（株）電通執行役員社長補佐
◇ パネルディスカッション 「災害初期におけるリーダーの心得」

パネリスト：

戸羽 太 岩手県陸前高田市長
菅原 茂 宮城県気仙沼市長
須田 善明 宮城県女川町長

コーディネーター：

元全国市長会会長 森 民夫

講師の徳山氏は、震災当時の東北地方整備局長として、本震災の対応の最前線に立ち、東日本大震災については最も熟知している専門家の一人であり、とりわけその後国土交通省事務次官まで務めて、大震災の経験をその後の法改正や制度整備に生かしたという意味では第一人者中の第一人者である。

コーディネーターの、森氏は、中越地震当時の長岡

市長として、地震直後の緊急対策に定評があり、全国市長会会長として、震災対策人材の育成に大きな寄与を行った。

パネリストの、陸前高田市長、気仙沼市長、女川町長（当時は宮城県会議員）は、いずれも東日本大震災についての現場を知り尽くした地方行政トップであり、その発信力は世界的に著名である。

また、埼玉県本庄市の吉田信解市長も参加した。吉田市長からは、コロナ対策や環境問題についても詳細なインタビューを実施している。

当日の案内チラシ

PROGRAM 2021/3/26 金 pm13:00 ~
全国町村会館 ホール B（東京都千代田区永田町1丁目11-35）

注）コロナの状況によっては会場でのセミナーを中止させていただき、Zoomによるリモートセミナーの開催とさせていただきます。

13:05 ~ 14:35
基調講演：
「災害復興対策-東日本大震災を例にして」
LECTURER
徳山 日出男（とくやま ひでお）
（株）電通執行役員社長補佐
1957年岡山県生まれ。1979年東京大学工学部を卒業後同校教授に昇格。
アメリカ合衆国連邦道路局国際研究員、国土交通省道路局企画課長などを務め、2011年国土交通省東北地方整備局長、東日本大震災の復興総長に当たる。
2013年国土交通省道路局長、2015年同省事務次官。現在、国立政策研究大学院大学の客員教授も務める。
パネルディスカッションでパネリストとしても参加いたします。

14:40 ~ 17:00
パネルディスカッション：
「災害初期におけるリーダーの心得」
PARTICIPANTS
COORDINATOR
森 民夫（もり たみお）
（一社）地方行政リーダーシップ研究会代表理事
1949年長岡市生まれ。1947年東北大学建築学部の卒業後、民間設計事務所を経て1975年建設省（現国土交通省）入省。
1999年長岡市長（以降5期）。
2009年全国市長会会長（以降4期）に就任。2011年東日本大震災復興総長兼一般競争入札。
2017年長岡市長連任。現在、筑波大学・近畿大学客員教授等を務める。2019年（一社）地方行政リーダーシップ研究会を設立。

PANELIST
戸羽 太（とねほろ たし）
岩手県陸前高田市長
1965年神奈川県足柄上郡松田町生まれ。東京国立印刷研究所卒。1995年陸前高田市議会議員に初当選し、以降3期12年務める。2007年度市助産、岩手市長を経て、2011年度陸前高田市長に就任。現在3期目。
菅原 茂（すがわら しげる）
宮城県気仙沼市長
1956年気仙沼市生まれ。1980年東北大学水産学部卒業。1981年同大学水産学部卒業。1982年（株）トヨタに入社。1992年（株）豊水水産に転職。2007年小野寺五典市長補佐。岩手県公営第一総合事業を経て、2010年気仙沼市長に初当選。現在3期目。
須田 善明（すだ よしあき）
宮城県女川町長（現職）
1972年女川町生まれ。明治大学経営学部卒業後（株）電通に入社。
1999年宮城県科員会議員に初当選し、以降3期務める。
2011年2010年度に当選後、初当選。現在3期目。

本年度の成果、次年度の研究計画

コロナのため、直接会場における人材育成の遂行には大きなブレーキがかかったが、ネットを利用することによって、十分ではないもののそれに準じた成果を上げることが可能となった。次年度は、より一層カリキュラムの充実を図り、人材の育成を進める予定である。